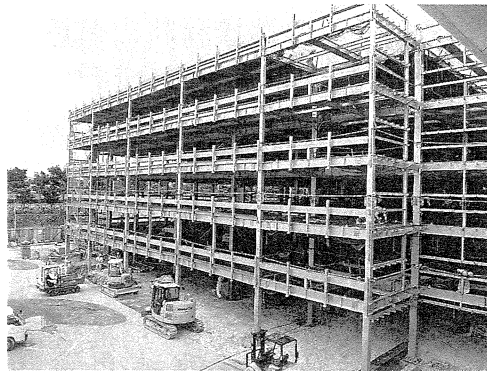


沖縄・那覇で建設現場見学会

那覇空港の立駐にメタルパーク採用

JFEシビル

JFEシビル(本社・東京)は2日、那覇空港ビル 開始した第1期工事分の建 京都台東区、藤井善英社 ディングが那覇空港(沖縄 物内部などを見て回った。

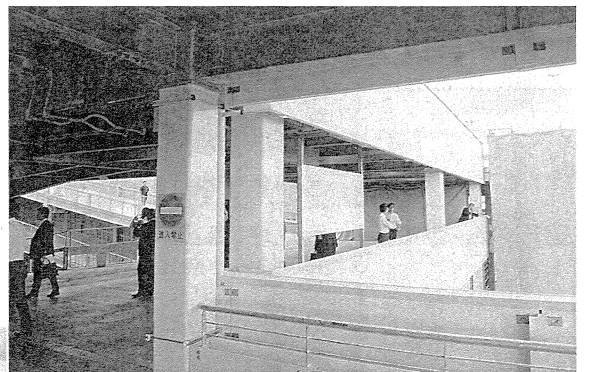


第2期工事の鉄骨建方が進行中

県那覇市)に建設 見学した物件の規模は、 中の新立体駐車場 S造、地上5階(5層6 の現場見学会を実 施し、同社のシス テム建築協力会の 会員らが参加した。 現場では第2期工 事の鉄骨建方が行 われており、参加 者はデッキプレー トを敷設する作業 の様子や、供用を

収容できる。第1期 工事(15年4月1日 ~12月31日、688 台収容)は完了し、 現在、第2期工事 (16年1月1日~9 月30日、538台収 容)が進行中だ。

同物件ではJFE シビルのプレハブ立 体駐車場「メタルパ ーク SFTII 型」が採用された。 一般認定で1フロア あたり4000平方メートル以下 に制限される床面積を80 00平方メートルまで拡大できる 個別認定を独自に取得。さ らに、車両重量2・5ト



▲外周部の鉄骨はめっきと 塗装で耐久性を高めた 見学する参加者たち

対応した認定も取得 している点などが評 価され、受注につながった。 那覇空港は海に面するた め、塩害地での耐久性を考 慮した仕様を選定。柱・梁 鉄骨はすべて溶融亜鉛めっ き処理とし、外周部に配置 される部材については溶融 亜鉛めっきに加えて常温乾 燥形フッ素樹脂塗装を施し た。また、床材には高耐食 性鋼板を母材とするJFE 建材の合成デッキプレート 「QLデッキ」を使い、天 井はデッキ現し仕上げとし ている。

JFEシビルは近年、 「メタルパーク」の採用実 績を大きく伸ばしており、 新幹線新駅や国際空港に付 属する大型物件の受注が寄 与している。直近では北陸 新幹線の新高岡駅、北海道 新幹線の新函館北杜駅や成 田空港、那覇空港の立体駐 車場に採用された。

また、國場組とのJVで 受注した沖縄県那覇市の沖 縄産業支援センターの立体 駐車場整備工事が今月着工 した。同物件の規模はS造、 2層3段、延床面積504 3平方メートル、収容台数は30 1台で、11月の完成を目指 す。